

食糧コース

食べることは生きること
～あなたの食卓を守る～

国内産農作物のグローバル化、地球温暖化の影響さらには担い手減少などにより、日本の農産業は大きな変革期を迎え、その対応が求められています。

本講座では、農業の維持発展のための取組みや、環境の変化に対応した農産業について各分野の専門家から話を聞き、食糧問題の解決と取組みについて学び、日本の食の未来を守るための理解を深めました。



第1回

異常気象に対応せよ！

～温暖化が農産物に及ぼす影響～

農研機構 九州沖縄農業研究センター
農業気象グループ長

脇山 恭行 先生

温暖化や気候変動による影響について知りました。豊富なデータや写真をもとに学び身近な問題に関して考える良い機会となりました。



第2回

気候に左右されない農業

～植物工場を使った最先端の農業～

東海大学
基盤工学部電気電子情報工学科
准教授 阿久津 雅子先生

植物工場の種類、オランダの太陽光型植物工場、日本の人工光型植物工場について広く知ることができました。



第3回

熊本のおいしさを引き継ぐ人たち

～6次産業化と新規就農の可能性～

有限会社 木之内農園
宮崎 龍太 先生

県内の食を率いる企業を代表し、木之内農園の歩みや実践をもとに6次産業化と新規就農の可能性を学びました。



第4回

食糧難を救えるのか？

～遺伝子組み換え植物の可能性～

東海大学
農学部応用植物科
教授 星 良和先生

遺伝子組換えに関して問題意識を持ちながら幅広い視点で学びました。専門的な内容でしたが、とてもわかりやすい講座で大変有意義な時間となりました！



第5回

熊本県の食糧事情

～農産業の現状と未来～

熊本県立大学
環境共生学部環境資源学科
教授 松添 直隆 先生

熊本の主な農畜産物や全国シェアなど熊本県の食糧事情に関して学びました。また、野菜に関する知識も広がりました。



受講生の感想

- ・「食糧コース」の今回のシリーズの内容は、日本であるいは世界で進行しつつある食についての最先端の取り組みを教えていただき、今後の課題として考えていかなければならない多くの示唆に富んだもので毎回、興味深かった。ありがとうございました。
- ・テーマに対し魅力を感じ、楽しい一時を送ることが出来た。今後も機会があれば参加したい。
- ・農業はサラリーマンからすると分かりにくい所があるが良く理解出来ました。有難うございました。